



## 第11回全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技 戦 評

種別	<input type="checkbox"/> 聴覚障害者の部(男子) <input type="checkbox"/> 聴覚障害者の部(女子)	会場	<input type="checkbox"/> 萩市民体育館
	<input type="checkbox"/> 知的障害者の部(男子) <input type="checkbox"/> 知的障害者の部(女子)		<input checked="" type="checkbox"/> キリンビハレック周南総合スポーツセンター
	<input checked="" type="checkbox"/> 精神障害者の部		(該当する会場に■印)

(該当する種別に■印)

平成 23 年 10 月 24 日 月 曜日 第 3 日目

C コート 第 9 試合

◎試合結果

埼玉県 勝都道府県名	2	30	—	28	0	浜松市 敗都道府県名
		25	—	16		
			—			

【審判員】 主 審： 渡邊 信義 (山口) 副 審： 山本 敦彦 (山口)

記録員： 津田 輝彦 (山口)

【戦 評】

記載者： 長岡 宏

埼玉県チームと浜松市チームが決勝にふさわしい好ゲームを繰り広げた。1セット目序盤は浜松市3番野中選手の強弱をつけた攻撃が決まると、埼玉県チーム8番大澤選手のブロックなどで応戦し、一進一退の攻防となった。中盤に浜松市4番山本選手のスパイクが決まり、一歩リードしたが、埼玉県チームが9番森選手のスパイクが決まり勢いに乗り逆転した。終盤まで接戦となったが、埼玉県6番清水選手のブロックで勢いが増した埼玉県チームが粘り勝ち、セットを先取した。2セット目は1セット目同様接戦となった。均衡を破ったのは埼玉県10番伊藤選手の連続サービスエースだった。流れをつかんだ埼玉県チームは中盤に16対9と大きくリードした。浜松市チームも1番高橋選手の力強いスパイクや2番小宮選手の好レシーブで粘りを見せるが間に合わず、埼玉県チームが栄冠に輝いた。